

# 菅木志雄 制作ノート 1967-2008

著者：菅木志雄  
デザイン：林琢真  
協力：小山登美夫ギャラリー、岩手県立美術館  
判型：B6 判変形 (188×128 mm) / 704 ページ / 並製  
テキスト：日本語  
定価：本体 7500 円 (税別)

ページ見本

ひとつの空間の秩序をこわす、それはアーティストに与えられた役割のひとつである。秩序に向かうのはよくない。(本書より)

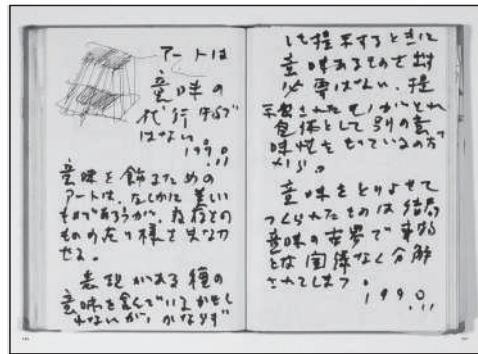
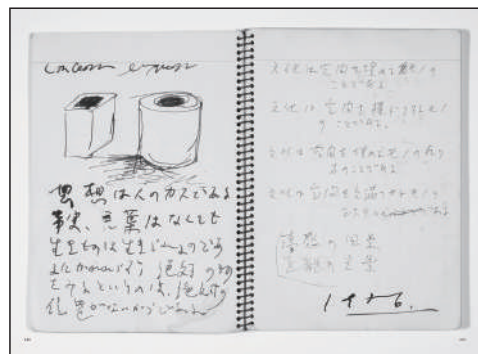
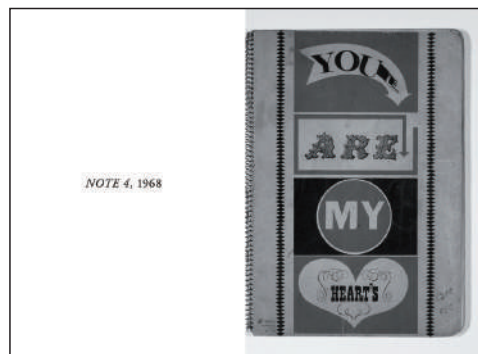
1960年代末から70年代に勃興し、日本に大きな芸術運動をもたらした「もの派」の中心的作家として、広く世界的に評価を集める菅木志雄。主に石や木材、金属、ロープ、水などの日常的な素材を、並べる、組み合わせる、立てかけるといったシンプルな行為により生じる、ものどもの、場所、人などの関係とその変化を表現しています。菅の制作のかたわらには、常にアイデアの着想から作品の構想まで、書くことで自身の思考を整理、展開してきた作家の根幹を成すノートがありました。本書は1967年から2008年までの間に書かれた20冊のノートから、作家自ら選定したページを掲載。また一部抜粋されたテキストを活字化。この世の理に、深く向き合い問い続ける作家の、制作の起点が刻まれた全704ページ。

モノ派の最大の特質は存在性そのことを基本にすえ、そこにこそモノの生起と消滅をみたのである。(本書より)

展覧会「ものでもなく場でもなく」  
会期：2023年6月24日(土)–7月22日(土)  
場所：小山登美夫ギャラリー六本木(東京・六本木)

菅木志雄 (すが・きしお)

1944年、岩手県盛岡市生まれ。静岡県在住。1968年多摩美術大学絵画科卒業。1968年の初個展以降、今までに400を超える国内外の展覧会に参加。近年の主な展覧会として、2016年 Pirelli HangarBicocca (ミラノ)での個展、Dia: Chelsea (ニューヨーク)での個展、スコットランド国立近代美術館でのカーラ・ブラックとの二人展、2017年第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際展「VIVA ARTE VIVA」、ポンピドゥ・センター・メッスの「ジャパノラマ 1970年以降の新しい日本のアート」展などがある。国内では、2015年ヴァンジ彫刻庭園美術館、東京都現代美術館「菅木志雄 置かれた潜在性」を同時開催。2021–2022年には故郷の岩手県立美術館で50年の活動を振り返る個展「〈もの〉の存在と〈場〉の永遠」を開催し、大きな話題を集める。作品はポンピドゥ・センター、テート・モダン、ニューヨーク近代美術館、M+や、東京国立近代美術館、東京都現代美術館をはじめ、国内外40以上の美術館に収蔵。



▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com  
TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)	HeHe www.hehepress.com mail: info@hehepress.com		ツバメ出版流通: 川人
	注文数	菅木志雄 制作ノート 1967-2008	買切(客注のみ)
ご担当:	様	ISBN978-4-908062-53-7 C0070	定価: 本体7500円(税別)